



ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 18 号

Oct.2004

Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization

16年度の上期の状況

暑くて長かった夏がようやく過ぎ、宝物のような秋がやってきました。

この秋を尊いものとして大切にしたいと思います。

16年度も半分が経過しました。当初の計画に比してほぼ順調に推移していますが、エコアクション21導入部門が国の対応の遅れにつれて、期初計画からずれていますが、後半の展開が非常に楽しみな部門です。本年度は新に自然環境部門と新規事業開発部門を立ち上げましたが、両部門とも順調な滑り出しをしていて、部門の会議にて決定された具体的な活動が実施されています。

環境実験教室、EMS支援、内部監査員養成、なにわエコ会議、環境調査隊、近畿職業能力開発大学校、環境省近畿地区環境対策調査官事務所、環境情報プラザ、環境経営、イベント部門、吹田支部等従来からの部門やチームは確実な実績を積み上げています。後半ではこれらの活動に加えて、ワンワールドフェスティバル、大阪府環境フェア、環境教育シンポジウム、環境報告書セミナー、等が決まっています。会員の皆様の絶大なるご支援をお願いいたします。

理事長 高井 茂

自然環境部門・発足

本年度総会時、高井理事長から「仮称自然観察部門」の設立を提案された事を受け、自然環境関連の有志が集い7月31日第1回部門会議を開催され、福田が部門長に選出されました。引き続き、当日午後、メンバーの丸一さんが活動されている、阿波座南公園（大阪市西区）のビオトープを見学しました。

8月15日第2回部門会議を開催、正式な部門名称を「自然環境部門」に決定、府と協働しての「大阪の公園」マップ作りや各種観察会、自然環境情報など多様な意見が討議され、次の**観察会**の実施が決定しましたので、OECAの皆さんのご参加をお待ちしています。

日時：10月30日（土）AM:10:00（雨天決行）

ところ：富田林市「錦織公園」

集合場所：公園南・駐車場側入って直ぐの資料館）

また、大阪府とNPO懇談会、2部門の内「みどりのまちづくり」にOECAから専門分野という事で福田が参加、8月10日、9月1日、27日の3回会議に出席し緑化問題、観察会の重要性、安全管理について意見を述べています。

尚、部門メンバーは現在、荒崎、外池、富平、小鯛、丸一、斉藤、牧村、清水福田の9名ですが「自然環境部門」に参加ご希望の方は福田までご連絡下さい。

自然観察部門 部門長 福田 裕

錦織公園アクセス

- ・南海高野線「金剛」
（南東へ徒歩20分）
- ・南海高野線「滝谷」
（東へ徒歩20分）
- ・近鉄長野線「滝谷不動」
（西へ徒歩20分）
- ・自動車：大阪外環状線
（国道170号線）
府道と泉富田林線

大阪府環境プラザでの活動

地下鉄中央線「森之宮」駅の近く、大阪府環境情報センターの1階に環境情報プラザがあります。ここは大阪の環境情報の発信拠点として、環境情報の収集、環境学習の機会や場の提供が出来る施設です。ここで、OECAのメンバーは毎週月、火、水、金、土曜日に出勤し、プラザ運営に係る業務に協力していますので、ぜひお立ち寄り下さい。

この施設では、環境情報コーナー（図書・ビデオの閲覧、視聴、貸出等）、研修室（環境をテーマにした学習会、発表会などに利用でき、OECAも9月4日の「環境カウンセラー受験セミナー」、10月2日の「環境教育シンポジウム」を開催しました。

また、環境実験室（愛称「いこらぼ」）では、水や大気などの簡易な環境の調査やクラフト工作などに利用できます。

出来るだけ多くの方が、気軽に環境に関する色々な活動に、利用していただきたいと思います。

詳細及び利用方法はホームページをご参照下さい。

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center/plaza/>

OECA 執行理事 北 潤明



環境カウンセラー受験セミナー

去る9月4日（土曜日）OECAとしては初めての「環境カウンセラー受験セミナー」を開催しました。

「環境カウンセラー」の応募締め切りは9月末でしたが、環境カウンセラーに興味を持たれている方々及び受験準備をされている方々へ、環境省による環境カウンセラー登録制度の紹介、環境カウンセラーによる受験の体験談、活動の様子等を紹介する目的で「環境カウンセラー受験セミナー」を開催しましたが、初めての企画にも拘らず、出席者は40数名となり盛況でした。

「環境カウンセラーとは」と題して、島林さんの説明に始まり、環境省の尾浦調査官の、「環境カウンセラー制度」、「環境カウンセラー募集の内容」のご講演、薬師寺さんの環境カウンセラーを受験するまでの仕事や動機、受験の体験のお話、塚本さんの懇切丁寧なる受験体験・論文の書き方などのお話、最後は環境カウンセラーになってからの活動として、OECAの活動事例を高井が話し、質疑応答の後に終了いたしました。

このセミナーのご後援をして頂きました、環境省近畿地区環境対策調査官事務所、大阪府、大阪市にお礼申し上げます。

また、本年度より立ち上げました「新規事業開発部門」について、参加者の皆さんと環境カウンセラーとで熱心なる討議がありましたことに感謝いたします。

このセミナーは来年もより充実させて実施いたす所存です。

理事長 高井 茂



（トピックス）

待ちに待ったエコアクション21の中央事務局が（財）地球環境戦略研究機構に決まり大きく動き始めました。審査人の試験や受験資格などの概要も発表されました。EA21ガイドライン及びこの制度について関係者でレビューし取り組みましょう。

去る10月2日に「環境教育シンポジウム」が大阪環境ネット・シニア自然大学・OECAの共催で行われ、環境省から田島室長補佐・近畿から麻生所長・大阪府岡野主査・大阪市木崎課長が講師を勤められました。詳しくは次回に掲載します。

最近の府下河川水質について一考

OECA 執行理事 中本 雅 雄

現在、大阪府下の河川は過去に比較して良くなっているのだろうか。

平成 11 年度版大阪府環境白書によると、昭和 45 年度の BOD（生化学的酸素要求量）排出量は 573 トン/日で、平成 7 年度は 136 トン/日と、数値的には 23.7%と大幅に BOD 負荷量は減少している。

昭和 45 年度の産業排水と生活排水との比率は 58.6%と 39.4%であり、非常に産業排水のウエイトが高かったが、平成 7 年度になると、産業排水と生活排水との比率は 18.2%と 79.0%とウエイトが逆転し、生活排水の水質汚濁に占める割合は大変大きい。

産業排水は工場規制等により大きく効果が上がったといえる。これに対して、生活排水は昭和 45 年度の BOD 負荷量は 225.7 トン/日で、平成 7 年度は 107.4 トン/日であった。量的には約 47.6%の減少しているが、BOD 汚濁負荷量から判断した場合、昭和 45 年度を 100%とすると平成 7 年度は 23.7%となり負荷量は非常に減っている。しかし、河川水質は昭和 45 年度に比較して良くなっているかと言えば、河川の水質測定の結果から見ると、少しは良くなったが、府下の河川敷を散歩していて、いまだ憩いを感じるほど浄化されているとは言い難く、まだまだ汚濁が目立つと思う。

次に府下の河川で魚が住んでいるかどうかを観察してみると、大阪市内の平野川平野運河の中本橋で、めだかが群れて泳いでいるのには驚かされた。その場所は昭和 45 年頃はメタンガスがぼこぼこ出て、悪臭の苦情が絶えなかった所であったが、今でも川を良く見ていると少しメタンガスが出ている。

また、大阪市の調査によると道頓堀川にも魚が住んでいるとのことである。私の住んでいる春木川は公共下水道が出来たせいか、コイ、フナ等が至る所でみられる。

河川が少しぐらい汚濁していても魚の生命力には驚かされる思いがする。

府下の河川水質の経年変化をみても、河川は一旦汚されてしまうと元に戻るには長年月を要することが分かる。

全ての河川のしゅんせつ（浚渫）をしてしまえば話は別だが、そう簡単にはいかない話であろう。

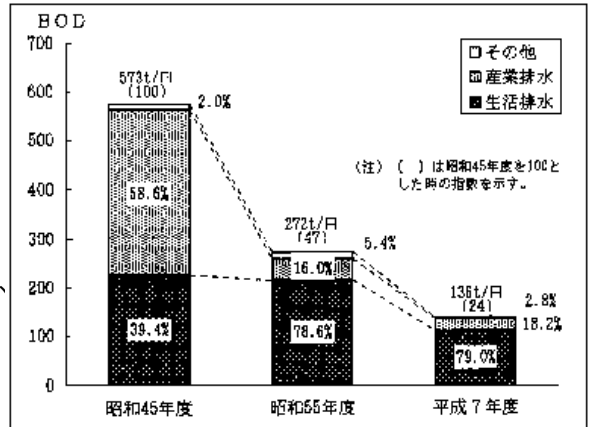
今後、河川の水質を良くして行くには、府下全域の生活排水を早急に公共下水道に接続が望まれる。また分流式の下水道では各家庭のトイレ排水はほぼ接続されているが、雑排水は多くの家庭で接続されていないケースが多々あるように見受けられる。泉州の諸河川はすべての雑排水が接続されると水質は非常に良くなると推定される。

しかし、現状の下水処理ではこれ以上の河川の浄化は期待出来ないであろう。

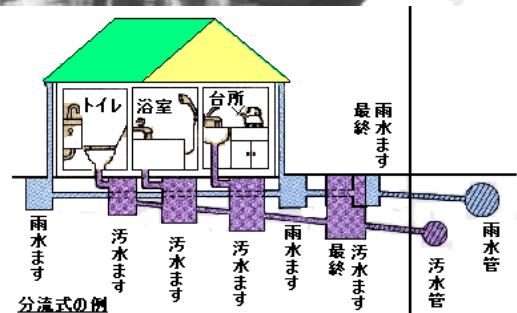
対策としては府下全域の公共下水道で早急に高度処理が必要で、実施することによって河川はもっときれいになると考えられ、この実現を期待する今日この頃である。

高度処理：通常行われている標準的な下水処理よりも処理水の水質を向上させるために、有機物を高度に除去したり、標準的な下水処理では十分に除去できない窒素、リン等を除去するために行うものである。また、高度処理により環境ホルモンもほとんど除去されている。平成 13 年度末現在において、高度処理は 200 箇所を実施されており、高度処理人口は 1,227 万人となっているものの、先進諸国に比較して、整備水準は著しく低く、河川、湖沼、閉鎖性水域の重要水域において積極的に高度処理を推進する必要がある。（国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道企画課 HP より）

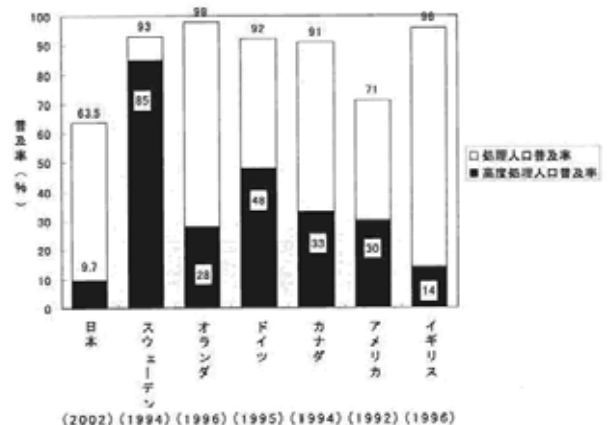
2-4-1図 BOD汚濁負荷量の推移



清掃作業船・中本橋にて



各国の高度処理実施状況



各地域の活動紹介

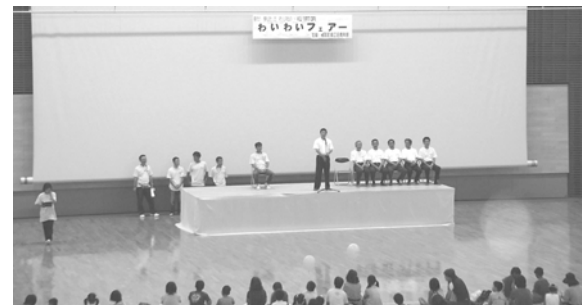
大阪市・西淀川区民まつり

8月7日大阪市西淀川区 西淀公園で、西淀川区民まつりが開催され「環境パネル展示～地球にやさしい生活しましょ!!～」をテーマに『大阪市西淀川区なにわエコライフ協議会』の大成代表幹事が中心となり参加した。

O E C Aは、一般市民への環境啓発、国・府・地元行政と協働、地域協議会活動、大阪府地球温暖化防止活動推進員活動等を環境パネル展示、相談コーナー、啓発資材（冷蔵庫センサー：ピヨピヨ）の配布で協議会を支援した。（島林泰人）

“わいわいフェア兼熊取町商工会創立20周年記念事業”に参加

8月22日、熊取町商工会主催による“第18回わいわいフェア-兼熊取町商工会創立20周年記念事業に熊取町役場環境企画課とO E C Aが協働で参加した。“環境にやさしい企業へ!!”をテーマに環境パネル、EA21 啓発パネルの展示、ごみゼロライフアイデア募集ポスター掲示、環境家計簿、環境相談コーナー、啓発資材の配布を行った。会場には、町民の方々、商工会のメンバー事業者を中心に多数参加された。（中村豊、山岸茂樹、島林泰人）



「男女平等教育推進事業講座」(大阪市立城北市民学習センター)開催

大阪市教育委員会の大阪市立城北市民学習センターより男女平等教育推進事業講座を受託し、6月の環境月間の一環として、“めざせエコライフ!”、“～環境にやさしい生活～”をテーマに、6月の毎週土曜日、4回連続した次の環境シリーズ・プログラムを実施しました。

5月5日 「リサイクル体験」 リサイクルによる便利なグッズづくり

6月12日 「光熱費ゼロへの道」 太陽光発電、その他省エネ取り組みの講座

6月19日 「エコライフで地球にやさしく」 地球温暖化の実験教室

6月26日 「知って得するエコライフ!」 環境家計簿となにわエコライフの取り組み

この講座は環境の実態と身近にできる環境活動を学び、男女ともに協力して環境にやさしい生活に取り組む資質を育み、めなおすことを趣旨として実施いたしましたが、各回とも多数の参加者があり、終了後のアンケートでは「省エネ問題を漠然と考えていましたが、具体的な説明でより身近にその必要性を感じました」など感想が寄せられました。

尚、この講座はO E C Aメンバー宇田、伊達、谷、森（郁）、薬師寺、北で実施しました。（O E C A 広報部門：北 潤明）



編集後記：O E C Aも会員の増加に伴い、活動も多岐にわたり会員間のコミュニケーションに問題が出そうです。コミュニケーションの手段としては、理事会、総会、各部門の会議、ホームページ、ニュースレターが主な手段です。就きましては、会員の皆さんへお願いですが、皆さんの活動の状況はニュースレターで取り上げ広く伝える所存ですので、ぜひ、事務局に活動状況をお知らせ下さい。

さて、本年3月に環境省の「エコアクション21 新ガイドライン・認証制度 説明会」が各地で開催され、認証制度の詳細は後日となっていました。ようやく、10月6日(財)地球環境戦略研究機関(IGES)の「持続性センター(CfS)」より発表されました。(詳細は<http://www.ea21.jp/>) それによりますと「エコアクション21 ガイドラインは、環境省が策定し、認証・登録は、財団法人地球環境戦略研究機構 持続性センターが実施しています。」ということですが、E A 2 1をコンサルティングされる会員は、この制度を充分理解し、取組事業者へ充分な説明を行い事前の合意が重要で、審査人も同様にこの制度を充分に理解し活動されることが重要です。従って、O E C Aの会員の皆様はE A 2 1 導入部門(大畑部門長)の統一見解の元に活動されることが望まれます(中島記)

(このニュースレターは再生紙を使用しています)

発行者：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24

piaNPO 411号

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org <http://www.osaka-eca.org/>

発行人：高井 茂

編集：中島延雄

